



透湿弾性タイル・L

ホルムアルデヒド放散等級

透湿弾性タイル・Lベース
F☆☆☆☆ NSK・0306316
透湿弾性タイル・L模様
F☆☆☆☆ NSK・0306317

JIS A 6909

防水形複層塗材 E
(透湿弾性タイル・Lベースに適用)

※JIS 対応組み合わせ詳細につきましては、
弊社ホームページまたは、各支店、営業所でご確認ください。

「透湿弾性タイル・L」は、
透湿性能を付与した防水形複層塗材です。

特長

01 弾性性能

伸縮性と弾力性に富み、下地のクラックに抜群の追従性を発揮します。

02 優れた性能

中性化抑止や塩害・凍害防止の効果が優れています。

03 透湿性能

透湿性能に優れており、膨れ・剥離を抑止します。

用途

防水形成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材(防水形複層塗材 E)による内外装の吹付けによる仕上げ工事に適用する。

適用下地

コンクリート・セメントモルタルとし、その他の下地に適用する場合は特記による。

※下地材により下地調整処理が必要になります。

●公共建築工事標準仕様（平成28年版）

凹凸・凸部処理状模様

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(h) (条件:23°C,50%RH)	所要量(kg/m ²)
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、粉塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清潔な面とします。				
下塗り	キクスイ浸透性プライマー E 主 材：15 kg 無希釈	はけ・ウールローラー エアレススプレー等	1	3以上	0.1以上
増塗り	透湿弾性タイル・Lベース吹材 主 材：18 kg 清 水：0.3~1.0 L	はけ等	1	3以上	0.9以上
主材塗り	基層塗り 透湿弾性タイル・Lベース吹材 主 材：18 kg 清 水：0.5~1.1 L	リシンガン 口径：5~6 mm 吹圧：0.5~0.6 MPa	2	16以上 工程内3以上	1.7以上
	模様塗り 透湿弾性タイル・L模様吹材 主 材：18 kg 清 水：0~0.5 L	タイルガン 口径：6~8 mm 吹圧：0.2~0.3 MPa	1	18以上 凸部処理1以内	0.9以上
凸部処理	プラスチックローラーに塗料用シンナーを付けて均一に押さえる			18以上	-
上塗り	透湿弾性トップ 主 材：16kg 清 水：0.8~1.6L	エアレススプレー等	2	工程内2以上	0.25以上

(注)①上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

②凸部処理は、凸部処理状模様の場合のみ行って下さい。

③適合する上塗材(JIS対応組み合わせ)につきましては、各支店、または営業所にご確認下さい。

④増塗りは、出隅、入隅、目地部、開口まわり等にははけ又はローラーにより、端部に段差のないように塗り付けてください。

⑤上記とは別にゆず肌状(ローラー)模様もございます。



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル

<http://www.kikusui-chem.co.jp/>

透湿弾性タイル・L



荷 姿

- <基層材> 透湿弾性タイル・L ベース NET 18 kg/缶入
 <模様材> 透湿弾性タイル・L 模様 NET 18 kg/缶入



注意点

1. 下地がコンクリート、モルタルの場合は素地の乾燥は十分に行い、水分10%以下、pH10以下で施工してください。
2. 外部の下地で巣穴、段差などがある場合、セメント系下地調整塗材「BR#15」等で処理してください。
3. シーリング材の上に施工する場合、シーリング材の種類等により、汚染、密着不良、又は塗膜に割れが発生することがあります。詳しくは最寄りの弊社営業所等までお問い合わせください。
4. 材料は直射日光下又は0℃以下での保管は避けてください。
5. 溶剤形の製品を取り扱う場合は、特に火気に注意し消防法及び労働安全衛生法等を厳守してください。
6. 施工時は換気を十分に行ってください。
7. 希釈の必要な製品は指定の希釈材を使用し適切な量、適切な方法で均一に薄めてください。
8. 施工場所の気温が5℃以下、湿度が85%以上又は結露の発生が考えられる場合は、塗膜の乾燥過程で種々の欠陥を生ずることがありますので、施工しないでください。
9. 各種標準施工仕様に記載の所要量及び間隔時間を守って施工してください。
10. 施工直後の降雨、結露等により塗膜の膨れ、剥離、白化等の不具合を生じる場合があります。降雨、結露、降雪のおそれ、または強風のおそれがある場合は施工しないでください。
11. 磁器タイル洗浄用の酸が表面に付着すると、変色したり溶解します。磁器タイルの洗浄用の酸が塗装面に付着する可能性がある場合は、必ず塗装面のマスキングを行ってください。
12. 軽量モルタル、ALCパネル、高断熱型窯業系サイディング及び発泡ウレタンなどに施工する場合は、蓄熱したり、水の影響や、下地の状態、塗装時の環境など条件により、塗膜の膨れ、はがれなどが生じることがあります。
13. 被塗物の形状、膜厚、色目、塗回数、希釈率により、つやが異なって見える場合があります。また、刷毛、ローラー塗装時の塗継ぎ箇所等で艶むらを生じやすい傾向にあります。試し塗りの上、本施工してください。
14. 外部に施工の場合、彩度の高い色は退色、色むらが早期におこる場合があります。また濃色や原色に近い色彩は、塗膜をこすると色落ちや色移りすることがあります。
15. 改修、改装工事の場合は、最寄の弊社営業所等にご相談ください。
16. 希釈した製品は、長期間保管後使用しないでください。
17. 製品の取り扱いについての一般的な注意事項の詳細はSDS(安全データシート)を参照してください。

取扱店



菊水化学工業株式会社

本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号
日本生命広小路ビル

☎052-300-2222(代)

仙台支店 ☎022-207-5710

東京支店 ☎03-3981-2500

名古屋支店 ☎0568-69-5200

関西支店 ☎06-7668-5320

福岡支店 ☎092-935-4610

●ホームページアドレス <http://www.kikusui-chem.co.jp/>